

古典を読む能力と意欲を互いに高め合う授業

～「思考の引き出し」を増やして活用する「ジグソー学習」を軸として～

福島県立郡山高等学校 教諭 梅野 克也

1 研究の趣旨

私は、古典の授業で、古人の言葉と向き合って主体的に学ぼうとする生徒を育てたい。そのためには、「教師が何をどのように教えるか」という視点から、「生徒が何をどのように学ぶか」という視点への転換が必要である。そこで、個々の生徒が切磋琢磨し、読む能力を互いに向上させていくとともに、学ぶ意欲も高め合っていける古典の授業を構築したいと考えた。そのような授業が実現できれば、生徒たちは、古典の知識・理解に基づいた思考を他者と交換し合って「思考の引き出し」を増やし、多様な見方、感じ方、考え方を身につけることができるのではないだろうか。そこで、以下に述べるような仮説を設定し、本主題に迫った。

高等学校における「古典」の指導において、以下の手だてを講じれば、生徒は、古典を読む方法を効果的に学び、「読む能力」と古典学習への「関心・意欲・態度」を互いに高め合うことができるであろう。

【手だて1】 指導内容の精選と学習過程の明確化

【手だて2】 「ジグソー学習」を軸とした協調学習

2 研究の概要

(1) 指導内容の精選と学習過程の明確化について

① ワークシート及びWebサイトの活用（平成25年度・第2学年）

生徒を主体とした学習活動を充実させ、学力を向上させるためには、基礎となる知識の習得が不可欠であり、学んだことを整理する時間も必要となる。そこで、指導内容を精選し、到達すべき学習目標を最初に提示して学習目標に沿った予習・復習用のワークシート及びWebサイトを活用させた。

② 「自己評価型CAN-DOリスト」の活用（平成26年度・第1学年）

単元毎に自己評価型の「CAN-DOリスト」を作成し、各生徒に活用させることによって、到達すべき学習目標を把握させ、予習から復習までの過程を明確にしようと考えた。

(2) 「ジグソー学習」を軸とした協調学習について

教材の本文を分割し、各班（ジグソーグループ）ごとに担当者を決め、同じ部分の担当者同士が新たな班（エキスパートグループ）で学習した。その班では、本文の音読、品詞分解、口語訳及び基本的な読解などについて協調学習を行った。その後、元の班（ジグソーグループ）に戻って互いに教え合い、それぞれの学習内容を結び付けて教材全体を学び、読みを深めた。指導者は、必要に応じて各班に助言を与えた。単元の最後には、共有した学習の過程と成果を一人一人が振り返って文章化する「ジグソー課題」と学習内容の理解度を確認する「確認課題」を設定した。

(3) 授業実践例

① 授業実践Ⅰ（思考を広げる授業）

『蜻蛉日記』の「うつろひたる菊」を教材とし、本文を4分割して「ジグソー学習」を実施した。「道綱母と兼家についてどう思うか」という「ジグソー課題」と、文法事項及び解釈に関する「確認課題」に取り組みさせた。

② 授業実践Ⅱ（思考を深める授業）

『和泉式部日記』の「夢よりもはかなき世の中」を教材とし、本文を4分割したが、最初の4分の1は講義形式で学習した。「ジグソー課題」は、『女』の贈答歌に込められた思いを、帥の宮への手紙として現代語で書き改めよ」とした。

3 成果と今後の課題

(1) 研究の成果（平成25年度・第2学年）

事前・事後に実施した意識調査で、「古典」の授業における「話し合い」の必要性を尋ねたところ、「必要」と回答した生徒が事前調査では35%だったのに対して、事後調査では92%に増加した。また、「ジグソー学習」に対する自由記述式の感想では、「普通の授業より知識が身に付いた実感がある」、「自分で考え、意見が聞けるので、授業が楽しい」、「協力して学習することで、より理解が深まった」などの記述が多く見られ、学びの実感が確認できた。辞書を引いたり、前後の文脈から考えたり、他の部分と比較したりという思考の過程を友人と共有することで、思考の「引き出し」を増やし、活用することができたと言える。主体的な学習者同士がともに考えていくことによって、答え（結果）ではなく、考えながら学んでいく方法（過程）を学んだのである。

生徒たちが「読む能力」と「関心・意欲・態度」を互いに高め合い、多様な見方、感じ方、考え方を身につける古典の授業を行う上で、「ジグソー学習」を軸とした学習過程の構築は、有効な手だてであると言える。また、指導内容を精選して学習目標を示し学習過程を明確にすることが、「ジグソー学習」の効果を高めることも確認できた。

(2) 今後の課題（平成26年度・第1学年）

今後、「生徒が何をどのように学ぶか」という視点で授業を展開し、工夫・改善を加えていく。また、他の様々な学習法との効果的な組合せを考え、3年間を見通した計画を作成する。